

リリース 2.5(2) での UCS M シリーズ モジュラ サーバのハードウェアおよびソフトウェア相互運用性

初版 : 2015 年 08 月 26 日

最終更新 : 2015 年 10 月 02 日

リリース 2.5(2) での UCS M シリーズ モジュラ サーバのハードウェアおよびソフトウェア相互運用性

このマニュアルには、シスコまたはシスコのパートナー、またはその両方によってテストされ、検証された Cisco UCS M シリーズ モジュラ サーバ コンポーネントおよび構成の相互運用性マトリクスを記載しています。サポートされたハードウェアおよびソフトウェアの参照用に使用してください。

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

- [対象読者](#)
- [オペレーティング システム相互運用性マトリクス](#)
- [Cisco M シリーズ サーバの UCS 仮想ネットワーク インターフェイス](#)
- [Cisco M シリーズ サーバの UCS 仮想ストレージ コントローラ](#)
- [スイッチ相互運用性マトリクス](#)
- [ストレージアレイ相互運用性マトリクス](#)
- [関連資料](#)
- [マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート](#)

対象読者

このマニュアルは、シスコの販売担当者、サポートエンジニア、専門サービスパートナー、およびデータセンター環境における Cisco M シリーズ サーバの設計および導入に対して責任を持つシステム管理者が使用することを目的として作成されています。

このドキュメントの内容は、定期的に更新されます。現在のバージョンは 2015 年 10 月 2 日に作成されたものです。

表 1 に、マニュアルの変更履歴を示します。

表 1: マニュアルの変更履歴

リビジョン	日付	注
1	2015 年 8 月 24 日	初版
2	2015 年 10 月 2 日	Windows 2012 を削除 Ubuntu を削除 SLES 12 の注 8 を削除

オペレーティング システム相互運用性マトリクス

表 2 は、Cisco M シリーズ サーバがサポートしているオペレーティング システムのリストです。

表 2: オペレーティング システム

UCS ブレードサーバ	ベンダー	オペレーティング システムのバージョン	注
M142、M1414、M2814 コンピュータカートリッジ	CentOS	CentOS 6.5	2、5、6
M142、M1414、M2814 コンピュータカートリッジ	Citrix	XenServer 6.5	2
M142、M1414、M2814 コンピュータカートリッジ	Microsoft	Windows Server 2012 R2	7
M142、M1414、M2814 コンピュータカートリッジ	Red Hat	Red Hat Enterprise Linux 6.5	2、8、12
M142、M1414、M2814 コンピュータカートリッジ	Red Hat	Red Hat Enterprise Linux 7.0	2、8、12
M142、M1414、M2814 コンピュータカートリッジ	SuSE	SUSE Linux Enterprise Server 11.3	2、8
M142、M1414、M2814 コンピュータカートリッジ	SuSE	SUSE Linux Enterprise Server 12	2

Cisco M シリーズ サーバの UCS 仮想ネットワーク インターフェイス

表 3 は、Cisco M シリーズ サーバがサポートしている統合型ネットワーク アダプタのリストです。

表 3: 統合型ネットワーク アダプタ

UCS ブレード サーバ	アダプタ モ デル	オペレーティ ング システム	アダプタ ドラ イバ	アダプタ ファーム ウェア	注
M142、M1414、 M2814 コン ピュータ カート リッジ	UCS 仮想 イーサネッ ト インター フェイス	CentOS 6.5	2.1.1.97 (ENIC)	4.0 (6a)	5、6
M142、M1414、 M2814 コン ピュータ カート リッジ	UCS 仮想 イーサネッ ト インター フェイス	Red Hat Enterprise Linux 6.5	2.1.1.97 (ENIC)	4.0 (6a)	
M142、M1414、 M2814 コン ピュータ カート リッジ	UCS 仮想 イーサネッ ト インター フェイス	Red Hat Enterprise Linux 7.0	2.1.1.97 (ENIC)	4.0 (6a)	
M142、M1414、 M2814 コン ピュータ カート リッジ	UCS 仮想 イーサネッ ト インター フェイス	SUSE Linux Enterprise Server 11.3	2.1.1.97 (ENIC)	4.0 (6a)	
M142、M1414、 M2814 コン ピュータ カート リッジ	UCS 仮想 イーサネッ ト インター フェイス	SUSE Linux Enterprise Server 12	2.1.1.97 (ENIC)	4.0 (6a)	
M142、M1414、 M2814 コン ピュータ カート リッジ	UCS 仮想 イーサネッ ト インター フェイス	Windows Server 2012 R2	3.4.0.12 (ENIC)	4.0 (6a)	3
M142、M1414、 M2814 コン ピュータ カート リッジ	UCS 仮想 イーサネッ ト インター フェイス	XenServer 6.5	2.1.1.97 (ENIC)	4.0 (6a)	

Cisco M シリーズ サーバの UCS 仮想ストレージ コントローラ

表 4 は、Cisco M シリーズ サーバがサポートしているオンボード RAID コントローラまたは PCIe アダプタのリストです。

表 4: オンボード RAID コントローラ

UCS ブレード サーバ	アダプタ モデ ル	オペレーティ ング システム	アダプタ ドライ バ	アダプタ ファームウェ ア	注
M142、M1414、 M2814 コン ピュータカート リッジ	USC 仮想スト レージコント ローラ	CentOS 6.5	0.0.1.22 (SNIC)	24.5.2.3	1、5、6
M142、M1414、 M2814 コン ピュータカート リッジ	USC 仮想スト レージコント ローラ	Red Hat Enterprise Linux 6.5	0.0.1.22 (SNIC)	24.5.2.3	1
M142、M1414、 M2814 コン ピュータカート リッジ	USC 仮想スト レージコント ローラ	Red Hat Enterprise Linux 7.0	0.0.1.22 (SNIC)	24.5.2.3	1
M142、M1414、 M2814 コン ピュータカート リッジ	USC 仮想スト レージコント ローラ	SUSE Linux Enterprise Server 11.3	0.0.1.22 (SNIC)	24.5.2.3	1
M142、M1414、 M2814 コン ピュータカート リッジ	USC 仮想スト レージコント ローラ	SUSE Linux Enterprise Server 12	0.0.1.22 (SNIC)	24.5.2.3	1
M142、M1414、 M2814 コン ピュータカート リッジ	USC 仮想スト レージコント ローラ	Windows Server 2012 R2	3.2.0.13 (SNIC)	24.5.2.3	1
M142、M1414、 M2814 コン ピュータカート リッジ	USC 仮想スト レージコント ローラ	XenServer 6.5	0.0.1.22 (SNIC)	24.5.2.3	1

スイッチ相互運用性マトリクス

表 5 は、このバージョンのユニファイド コンピューティング システムでサポートされているス
イッチ モデルのリストです。



- (注) Cisco UCS には、UCS ファブリック インターコネクットのアップリンク ポートまたはアプライアンスのポートを介した接続時にイーサネットを使用するように構成されているスイッチとの相互運用性に関する要件はありません。

表 5: スイッチ

ベンダー	スイッチ モデル	注
シスコ	Nexus 5000 : 5.2 (1) N1 (2)	9、10、11
シスコ	Nexus 5500 : 7.0 (5) N1 (1)	9、10、11
シスコ	Nexus 5600 : 7.0 (5) N1 (1)	9、10、11
シスコ	Nexus 6000 : 7.0 (5) N1 (1)	9、10、11

ストレージアレイ相互運用性マトリクス

表 6 は、このバージョンのユニファイドコンピューティングシステムでサポートされているストレージアレイ モデルのリストです。

この表に記載されているシスコの相互運用性に関するガイドラインは、次のトポロジとプロトコルに適用されます。

- UCSM で設定された iSCSI ブート
- iSCSI データ LUN アクセス (ストレージアレイがアプライアンスのポートを使用して直接 USC ファブリック インターコネク트에接続される場合)
- NFS または CIFS データ アクセス (ストレージアレイがアプライアンスのポートを使用して直接 USC ファブリック インターコネク트에接続される場合)



- (注) Cisco UCS には、UCS ファブリック インターコネクットのアップリンク ポートを介した接続時に iSCSI (データのみ)、NFS、または CIFS を使用するように構成されているストレージアレイとの相互運用性に関する要件はありません。

表 6: ストレージアレイ

ベンダー	ストレージアレイ モデル	アレイファームウェア	注
EMC	EMC Symmetrix ファミ リ (VMAX および DMX)、EMC ユニ ファイドストレージ VNX/VNXe	ストレージベンダーの サポートリスト (https://elabnavigator.emc.com) を参照。	3、9
EMC	XtremIO	ストレージベンダーの サポートリスト (https://elabnavigator.emc.com) を参照。	3、9
NetApp	FAS2000 シリーズ、 FAS2500 シリーズ、 FAS3000 シリーズ、 FAS3100 シリーズ、 FAS3200 シリーズ、 FAS6000 シリーズ、 FAS6200 シリーズ、 FAS8000 シリーズ、 V3000 シリーズ、 V6000 シリーズ	ストレージベンダーの サポートリスト (http://support.netapp.com/) を参照。	3、9
NetApp	E5400 シリーズ、E5500 シリーズ、E5600 シ リーズ、EF540 シリー ズ、EF550 シリーズ、 EF560 シリーズ、E2700 シリーズ	ストレージベンダーの サポートリスト (http://support.netapp.com/) を参照。	3、9

注

- 1 インストールに必要なドライバが OS イメージに含まれていない場合、またはサポートされていない場合は、cisco.com からドライバをダウンロードしてください。
- 2 x64 ビットバージョンのみがサポートされます。
- 3 iSCSI ブートがサポートされます。特に記載がないかぎり、アプライアンスのポートとアップリンク ポートの両方がサポートされます。
- 4 このシステムを MAAS 環境で最大限活用するには、MAAS サーバを最新のバージョンに更新する必要があります。

- 5 シスコでは、CentOS の定義済み設定を、USC ファームウェアと VIC ドライバがインストールされたシスコサーバ上でテスト済みです。シスコはこれらの定義済み設定を使用する UCS ユーザにサポート トリッジを提供します。カスタマイズされた CentOS カーネルでの問題や、定義済み構成以外の構成やシスコ製以外のコンポーネントを使用した場合の CentOS に関するすべての問題は、パートナーまたはお客様の責任となります。CentOS プロジェクトのコミュニティベースのリソースを使用して解決してください。CentOS ドライバは、CentOS プロジェクト コミュニティのリリース サイクルに従って更新されます。
- 6 シスコは、CentOS あるいは CentOS に関連して提供されるサポートを一切保証しません。CentOS.org にアクセスして、CentOS プロジェクトの利用規約をご確認ください。
- 7 Windows Hyper-V はサポートされていません。
- 8 保留中の OS 証明書
- 9 サポートされているソフトウェアとハードウェア（アレイおよびスイッチ）のバージョンについては、ストレージベンダーの相互運用性マトリクスを参照してください
- 10 シスコでは、リストされているバージョン以降のコードレベルは相互運用可能であると見なしています。
- 11 使用するすべてのスイッチでサポートされていない特定のスイッチ機能があります。各スイッチ製品のリリース ノートを参照して、必要な機能がサポートされるかどうかを判断してください。
- 12 KVM がサポートされます。

関連資料

関連するシスコの最新版マニュアルへのリンクを、次の URL の『*Cisco M Series Servers Documentation Roadmap*』で利用できます。

<http://www.cisco.com/c/en/us/products/servers-unified-computing/ucs-m-series-modular-servers/index.html>

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

FCC クラス A 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があります、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起ることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザー側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

FCC クラス B 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。本機器は、無線周波数エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があります、指示に従って設置および使用しなかった場合、無線通信障害を引き起こす場合があります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。干渉しているかどうかは、装置の電源のオン/オフによって判断できます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を移動します。
- 機器と受信機との距離を離します。
- 受信機と別の回路にあるコンセントに機器を接続します。
- 販売業者またはラジオやテレビに詳しい技術者に連絡します。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うことになります。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <http://www.cisco.com/go/trademarks>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

© 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.